

1 施策の概要

1	将来像	2	子育て・教育
2	施策	2-1	子育て
3	SDGsの位置付け	       	
4	施策の必要性	本格的な人口減少社会の到来を迎える中、少子化問題に対応するため、妊娠期から子育て期にかけての切れ目のない支援の推進と、仕事と子育てを両立できる環境の整備を図ることが喫緊の課題となっています。また、少子化が進む中、保護者の就労により保育所や認定こども園^{※1}を希望する家庭は増加しています。 一方、保育士などの保育の担い手不足が課題であり、施設整備とともに保育人材の確保が求められています。さらに、社会的な支援が必要なこども・家庭やひきこもり、ヤングケアラー等の生きづらさを抱えるこども・若者とその家族など、全てのこどもが将来にわたって幸福生活を送ることができる地域社会をめざしていく必要があります。	
5	施策の方向性	次世代育成支援行動計画に基づき、ライフステージに沿った施策を展開し、「いばらき版ネウボラ^{※2}」として、全てのこども・家庭の状況に応じた切れ目のない支援を行うことにより、こどもの人権や個々の特性が尊重され安心して過ごせる環境や、こどもの健やかな育ちを保障し、安心して子育てができる環境を整えます。 また、今後のこどもの数と保育需要を見極めながら保育の受入体制の整備を進めるとともに、より良い幼児教育・保育の提供を進めていきます。さらに、生きづらさを抱えるこども・若者の早期支援・早期困難解消に向けて、必要に応じて関係機関と支援連携しながら取り組みます。	
6	施策内の取組	2-1-1	安心して妊娠・出産できる環境づくり
		2-1-2	乳幼児期のこどもがのびのびと育つ環境づくり
		2-1-3	生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり
		2-1-4	主体性を育む環境づくり
		2-1-5	支援が必要なこども・家庭を含めた子育て家庭を、社会全体で支援できる環境づくり
7	分野別計画等	次世代育成支援行動計画	
		障害児福祉計画	
8	主な関連法律	こども基本法、次世代育成支援対策推進法、子ども・子育て支援法、子どもの貧困対策法、児童手当法、児童扶養手当法、母子父子寡婦福祉法、児童福祉法、母子保健法、子ども・若者育成支援推進法、児童虐待防止法、教育基本法、社会教育法	

2 各取組の内容

1	取組番号	2-1-1
2	取組名	安心して妊娠・出産できる環境づくり
3	現状と課題	妊娠・出産期にある人を対象に、妊娠・出産に関する相談や情報の提供、妊娠期・出産期における健康の保持・増進を図ることにより、健やかな出産を支援するための様々な取組を推進しています。引き続き、妊娠・出産期から切れ目のない支援を充実し、安心して妊娠・出産できる環境づくりを行う必要があります。
4	めざすべき姿	妊娠期を健やかに過ごし、安心して出産・育児ができるように、妊娠期における健康の保持・増進をはじめ、妊娠・出産・子育てに関する知識の普及や育児支援などが充実しています。また、妊娠・出産期からの切れ目のない支援をワンストップで行う機能が整い、こどもの健やかな成長・発達の支援とともに、子育て家庭全体に対するサポートを行う体制づくりができています。
5	取組むこと	母子健康手帳の交付等の様々な機会を通して相談や情報提供など <u>伴走型支援</u> ^{※3} を行うとともに、各種健康診査などを通して健康の保持・増進を図ります。また、出産前後の家庭の事情に応じて、入院費用の助成や家事支援などを行います。 母子保健事業と子育て支援事業の一体的な提供により、子育て支援に関するワンストップサービスの提供の充実を図るとともに、専門職や関係機関・関係団体との連携による妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行います。
1	取組番号	2-1-2
2	取組名	乳幼児期のこどもがのびのびと育つ環境づくり
3	現状と課題	保護者の子育てに対する不安や悩みを解消し、安心して子育てができるよう、子育てに関する相談支援・情報提供や経済的支援を行い、地域や関係機関と連携した子育て支援を推進するとともに、こどもたちが生涯にわたって健康な生活を営むことができるよう支援していく必要があります。また、本市の保幼小中一貫した <u>非認知能力</u> ^{※4} の育成の連携をさらに構築する必要があります。
4	めざすべき姿	地域での子育てに関する活動を応援し、多様なライフスタイルやニーズに対応した切れ目のない子育て支援サービスの充実が図られています。また、乳幼児期のこどもが健やかに育つよう、こどもの健康に関する取組が充実しています。
5	取組むこと	教育・保育の提供体制を計画的に整備し、地域子ども・子育て支援事業等のサービスの整備・充実や、経済的負担の軽減など、地域で安心して子育てができる環境づくりを推進するとともに、関係団体が連携・協働し、助け合う体制を推進します。

1	取組番号	2-1-3
2	取組名	生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり
3	現状と課題	地域住民のつながりが希薄になり、地域や家庭の教育力が低下する傾向にあります。また、安全に、安心して過ごすことができるこどもの居場所の確保が課題となっています。
4	めざすべき姿	学校・家庭・地域が連携してこどもを育てていくという視点に立った取組が進んでいます。文化・芸術に親しむ機会など、特色のある教育活動が展開されるとともに、こどもが安全に、安心して過ごせる居場所が充実しています。
5	取組むこと	こども達の学びや成長を支えるため、学校・家庭・地域が連携して教育コミュニティづくり※5を進めながら、健やかな心を育む教育活動を充実します。また、社会教育関係団体の支援に努めるとともに、地域や関係機関との連携を強化しながら、こどもの居場所づくりを推進します。
1	取組番号	2-1-4
2	取組名	主体性を育む環境づくり
3	現状と課題	青少年・若者が抱える課題は多様化・困難化しており、様々な支援機関で見守っていく必要があります。また、青少年・若者の身近な体験の場や安心して過ごせる居場所が必要となっています。
4	めざすべき姿	青少年・若者がチャレンジ精神を育むことができるよう体験活動の機会が提供できています。地域で生きづらさや孤立を感じることなく自立した生活を送ることができるように、地域や関係機関による相談・支援ができる体制が構築されています。
5	取組むこと	学校・家庭・地域が連携し、青少年・若者が健全に育つよう地域で見守る活動を推進するとともに、地域における居場所づくりや体験機会の提供に取り組みます。また、生きづらさを抱える青少年・若者とその保護者の早期支援・早期困難解消に努めます。

1	取組番号	2-1-5
2	取組名	支援が必要なこども・家庭を含めた子育て家庭を、社会全体で支援できる環境づくり
3	現状と課題	ひとり親家庭、発達の遅れや障害のあるこども等への生活支援や、子育て世代のワーク・ライフ・バランスの推進を図るため、手当の支給や家庭・企業への啓発など様々な取組を実施しています。また、ひとり親家庭や子育て世代への複合的な課題に対する支援のほか、発達の遅れや障害の可能性のあるこどもについて、よりきめ細やかな支援の実施や、早期支援につながるよう体制の充実が必要です。
4	めざすべき姿	ひとり親家庭、発達の遅れや障害のあるこども等が安定した生活を送ることができ、子育て世代が仕事と子育てを両立し、子育てしやすい環境ができています。
5	取組むこと	子育てに関する様々な支援を通して、子育て家庭の孤立化防止とネグレクト等児童虐待の早期発見・早期対応に努めるほか、ひとり親家庭へは、就業支援、経済的支援等、関係機関と連携した総合的な支援に取り組みます。発達の遅れや障害のあるこども等へは、早期療育体制の充実のほか、保護者への相談支援を実施します。また、子育て世代が仕事と子育てを両立し、子育てしやすい環境を推進するため、引き続き、家庭・企業への啓発等を実施します。

※1 認定こども園

幼稚園と保育所の機能や特長をあわせ持ち、地域の子育て支援も行う施設です。

※2 いばらき版ネウボラ

ネウボラとはフィンランド語で「アドバイスを受ける場所」と言い、妊娠期から出産・子育て期まで切れ目なく支援する体制を言います。本市では、こども支援センターにこの切れ目のない支援体制を整備し、いばらき版ネウボラとして一体的支援を実施しています。

※3 伴走型支援

全ての妊婦及び主に0歳から2歳のこどもを養育する子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育て期まで一貫して行う相談支援をいい、経済的支援と一体的に実施します。

※4 非認知能力

ペーパーテストなどの数値で測ることができる認知能力に対して、「あきらめずにやり切る力」や「思いやり」「忍耐力」などの数値化できない、表面上では見てとることができない人間の内面的な能力であり、こどもたち自身が直面する課題や困難を乗り越え、自己実現を果たしていくうえで必要不可欠な力のことです。

※5 教育コミュニティ

学校と地域が協働して子どものことを考え、具体的な活動を展開していく地域のネットワークのことです。

1 施策の概要

1	将来像	2	子育て・教育
2	施策	2-2	教育
3	SDGsの位置付け	   	
4	施策の必要性	こどもたちが社会の変化に対応し困難を乗り越えていくため、人間ならではの感性を働かせ新たな価値を生み出す力、多様な他者とつながって協働する力、未来を切り拓く力等を育む必要があります。また、多様性が重視される現代社会において、学びのスタイルや環境も個性や多様性が求められています。 その実現のため、教育環境の計画的・効果的な整備や教職員の負担軽減が図られた学校運営、学校・家庭・地域の連携による教育コミュニティの構築と、こどもたちの安全で安心な居場所づくりが求められています。	
5	施策の方向性	こどもたちの「非認知能力(＝茨木っ子力)」の育成を進め、「確かな学力」の育成、「豊かな心」の醸成、「健やかな体」の育成により、これからの社会を生き抜く資質・能力を育むことをめざします。 また、学校においてこども達が良好で快適な環境のもとで教育を受けることができる環境を整備するとともに、教職員が安心して働きやすい環境整備を行います。 こどもたちの多様な学びの場、多様な居場所づくりと保護者が安心して相談できる場づくりや、保幼小中連携により段差を解消し、就学前から中学校卒業までを見通し、こどもの学びをつなぐとともに、地域における教育コミュニティづくりを進めます。	
6	施策内の取組	2-2-1	「確かな学力」の育成
		2-2-2	「豊かな心」の醸成
		2-2-3	「健やかな体」の育成
		2-2-4	学校支援体制の充実
		2-2-5	学校施設の計画的な整備・充実
		2-2-6	教育情報化の推進
7	分野別計画等	茨木っ子プラン ネクスト5.0	
8	主な関連法律	学校教育法、教育機会確保法、学校保健安全法、学校給食法、食育基本法、食品衛生法、いじめ防止対策推進法、地方教育行政法、労働安全衛生法、施設費負担法、発達障害者支援法、医療的ケア児支援法、学校教育の情報化の推進に関する法律	

2 各取組の内容

1	取組番号	2-2-1
2	取組名	「確かな学力」の育成
3	現状と課題	言語力向上プロジェクト ^{※1} において公開授業等の実践・研究により各学校の取組改善につなげています。変化が激しく予測困難な時代に対応するため、主体的に学ぶことができる力も含めた「確かな学力」の育成を図る必要があります。
4	めざすべき姿	小中学校が連携して学力向上にかかる組織的・計画的な取組を推進しており、児童・生徒は学習習慣を身につけ、知識や技能を活用して学習に取り組み、学ぶ喜びを実感できています。また、教員の指導力向上にも意識して取り組んでいます。
5	取組むこと	毎年行われる全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学校の授業改善に反映するとともに、言語力向上プロジェクトや非認知能力育成のモデル校が取り組んだ好事例を取り入れた授業を推進します。
1	取組番号	2-2-2
2	取組名	「豊かな心」の醸成
3	現状と課題	茨木っ子力 ^{※2} の育成を念頭に行事等を実施するなど意識を高めながら、非認知能力育成につながる「キャリアパスポート ^{※3} 」「いま未来手帳 ^{※4} 」の活用を進めています。様々な考えや複雑化・多様化する社会の中で、自己肯定感を高めるとともに、個性や多様性を尊重する「豊かな心」を醸成する必要があります。
4	めざすべき姿	人権教育や道徳教育、非認知能力育成の取組を充実することにより、一人ひとりの児童・生徒が基本的な倫理観や規範意識を身につけ、学校生活全体の中で自らの大切さや他の人の大切さが認められていることを実感し、安心して学ぶことができます。
5	取組むこと	人権教育、支援教育の推進や学校行事、校外学習、文化・芸術に親しむ体験活動等、非認知能力の育成の取組の中で、自分の良さや他者の個性や多様性を認め合う機会を多く設け、思いやりつながる力の育成を図ります。

1	取組番号	2-2-3
2	取組名	「健やかな体」の育成
3	現状と課題	学校授業の工夫が児童生徒の運動意欲促進につながっています。コロナ禍の影響により、全体的に体力・運動能力の低下が課題であるとともに、人生100年時代にむけて、生涯にわたって体を動かしたり、健康やスポーツに親しむ意識を育む必要があります。
4	めざすべき姿	小中学校が作成した元気力向上プラン ^{※5} に則り、総合的な元気力の取組が進み、児童生徒の健康への意識や意欲、体力が向上しています。給食では、安全・安心でおいしい給食を安定的に提供するとともに、安全・安心な地元食材の使用回数が増え、的確なアレルギー対応ができています。
5	取組むこと	学校健診の実施や学校保健統計調査結果の活用により、児童生徒の健康の保持・増進を図ります。毎年の全国体力テスト ^{※6} の結果分析を行い、各校の課題に正対した授業改善を図るとともに、授業で楽しみながら体を動かすことで、体力の向上を図り、スポーツに親しむ心を醸成します。また、生徒の健やかな体や心の育成、教職員の負担軽減を踏まえた部活動の地域連携・地域移行に向けた取組を進めます。給食では、地元食材の使用などにより、小・中学校給食における食育の充実に努めつつ、アレルギー対応を適切に実施します。
1	取組番号	2-2-4
2	取組名	学校支援体制の充実
3	現状と課題	不登校児童生徒の増加は顕著であり、市教育支援センター（ふれあいルーム）の機能の充実等による多様な居場所づくりと、児童生徒・保護者のための相談体制の充実が必要です。また、市教育委員会と学校が一体となり教職員の資質向上、業務改善と働き方改革を進めていく必要があります。
4	めざすべき姿	児童生徒や保護者の不登校等の様々な不安や悩みに寄り添い、学校と連携して適切に指導支援し、居場所づくりができています。また、全ての教職員の学びや健康増進にかかる取組を支援し、こどもと向き合う時間を確保できるよう環境整備ができています。
5	取組むこと	多様なニーズに対応できるよう相談体制のさらなる充実を進めます。ふれあいルームでは向陽台高等学校をはじめ、近隣大学、フリースクール ^{※7} 、民間団体等との相互連携を充実させます。研修内容を充実させ、教職員の資質向上を図ります。ICT等を活用し、業務の改善や効率化を推進します。

1	取組番号	2-2-5
2	取組名	学校施設の計画的な整備・充実
3	現状と課題	安全・安心で快適な教育環境を整えるため、学校施設・設備の改修等を行っていますが、老朽化する施設・設備の計画的・効果的な長寿命化・更新、多様化する社会環境等に対応した整備が求められています。
4	めざすべき姿	子どもたちが安全・安心で快適な環境の中で教育活動を行うことができる環境整備が進んでいます。
5	取組むこと	老朽化する施設・設備の状況、社会環境や気候変動の影響等を踏まえ、計画的に学校施設・設備を改修・更新します。
1	取組番号	2-2-6
2	取組名	教育情報化の推進
3	現状と課題	個別に最適化された教育の実現をめざすため、GIGAスクール構想 ^{※8} を推進するとともに、教員が子どもと向き合う時間を確保できるようにするため、校務のDX ^{※9} を推進しています。今後、より効率的かつ効果的なICT活用を推進していく必要があります。
4	めざすべき姿	主体的な学びや創造性を育む学びのための教育ICT環境が実現されています。ICTを活用することでさらなる校務の効率化が図られ、教職員の負担が軽減されています。
5	取組むこと	社会環境や生活様式の変化などを踏まえて調査研究し、学校現場において学習及び校務の両面で効率的かつ効果的にICTを活用するための環境を整備します。児童生徒の情報活用能力向上や教職員によるICT活用を支援します。

※1 言語力向上プロジェクト

読解力の課題を明らかにするためにリーディングスキルテストを実施するモデル校、学校全体で国語の授業づくり等言語活動の充実に取り組むモデル校、本に親しむ活動や学校都市間を活用した授業づくりに取り組むモデル校の担当者が中心となって研究授業や授業実践等を通して、言語力向上を図ります。

※2 茨木っ子力

本市の最初の教育プランである「茨木っ子プラン22」から大切にしてきた、学力を下支えする4つの力(ゆめ力・自分力・つながり力・学び力)を、現行の教育プランの策定にあたり、保幼小中の先生方と協議を重ね、改訂したものです。

※3 キャリアパスポート

子どもが学校園におけるさまざまな経験等について絵や文字、文章で表現したものを確認したり、見通したり、振り返ったりしながら、自分の変容や成長を自己評価できるようまとめたものです。4歳から15歳(中学3年生)の子どもを対象としており、11年間の記録を積み重ね、成長の軌跡を確認することとおして非認知能力の育成を図っています。

※4 いま未来手帳

中学校の生徒を対象とした、生徒自身が目標や日々の出来事を記録するとともに、自身のスケジュール管理を行うための手帳です。活用することで、生活の質を高め、自己管理能力を育みます。

※5 元気力向上プラン

健康体力を保持増進できる力として、本市が「体力」「食育」「運動習慣」「健康」の要素を元気力と定義し、各学校が総合的に育成するために設定した計画のことです。

※6 全国体力テスト

平成20年度より、文部科学省が実施している調査で、日本全国の5年生・中学2年生を対象として行われるスポーツテストのことです。

※7 フリースクール

不登校の状況にある児童生徒に対し、学習活動、教育相談、体験活動等の活動を行っている民間の施設を言います。

※8 GIGAスクール構想

1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びのための教育ICT環境を実現するものです。

※9 校務のDX(デジタルトランスフォーメーション)

教職員が働き方改革の効果を実感し、教育活動のさらなる高度化を図ることができるよう、デジタル技術を活用して学校現場における事務的業務のあり方を抜本的に変革することです。